

ごあいさつ

大阪広域水道企業団企業長の竹山修身です。

このたび、企業団設立を契機として、この記念誌を発刊する運びとなりましたことを大変うれしく思っています。

当企業団は、平成 22 年 11 月に設立し、平成 23 年 4 月より、大阪市を除く大阪府内 42 市町村への水道用水供給事業や、北摂、東大阪、泉州地域における工業用水道事業を行っております。

これまで、これらの事業は大阪府が行い、市町村間の重複投資を避けながら、戦後の人口急増と経済発展による水源確保に対応してきました。

しかし、近年、人口減少や節水機器の導入などにより、大阪府域においても水需要は減少し、水道事業の課題は新規施設の整備から維持・更新へと変化しています。また、一部の市町村では、団塊の世代の職員の退職による技術の継承が難しい、施設の更新に必要な財政負担が重いなど、経営環境が厳しくなっています。

こうした水道事業の変化や課題に対応し、府域に安全・安心な水を安定的かつ低廉に供給し続けるために、市町村が用水供給事業を担い、従来から市町村が実施している水道事業と連携して、効率的な経営を目指す必要があります。また、大阪府に代わって事業を行うことにより、住民により近い市町村が経営や事業、用水供給料金に関する事などを決定することができます。

このような趣旨により、当企業団が府営水道の事業を承継することになりました。

当企業団のように、42 市町村を構成団体とする大規模な水道事業は、全国的にみても類を見ないものです。

今後、市町村が共同で経営する強みを活かし、エンドユーザーの立場で経営改革に努めるとともに、構成団体の創意（総意）で事業推進するなど、タフでスリムな企業団経営を目指してまいります。

今後とも、当企業団の事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げ、記念誌発刊に当たってのごあいさつといたします。

大阪広域水道企業団企業長

竹山 修身

